

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立昴学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿	<p>総合学科、全寮制などの特色を生かして次のような人材育成や学校づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卒業後に社会で活躍できるように主体的に行動できる人材の育成 ○何事にも誠実にかつ意欲的に取り組むとともに、思いやりを持って人と接することができる人材の育成 ○地域との連携を深め、地域から信頼されるとともに、地域から必要とされる人材の育成 						
(2)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な困難にも自ら主体的に取り組み、社会の課題を自分事として捉え、課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 ○自尊感情を持ち、様々な他者に対して共感する心を持ち、仲間と共に課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 </td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">【グラデュエーション・ポリシー】</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">ありたい教職員の姿</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を心がけるとともに、授業力向上に向けた自己研鑽に励み、相互協力し、積極的にカリキュラムマネジメントに参加する教職員 ○生徒の成長を自らの喜びとして、いきいきとやりがいを持って働くことのできる教職員 </td> </tr> </table>	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な困難にも自ら主体的に取り組み、社会の課題を自分事として捉え、課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 ○自尊感情を持ち、様々な他者に対して共感する心を持ち、仲間と共に課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 	【グラデュエーション・ポリシー】		ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を心がけるとともに、授業力向上に向けた自己研鑽に励み、相互協力し、積極的にカリキュラムマネジメントに参加する教職員 ○生徒の成長を自らの喜びとして、いきいきとやりがいを持って働くことのできる教職員
育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な困難にも自ら主体的に取り組み、社会の課題を自分事として捉え、課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 ○自尊感情を持ち、様々な他者に対して共感する心を持ち、仲間と共に課題解決に向かう姿勢が育まれている生徒 						
【グラデュエーション・ポリシー】							
ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を心がけるとともに、授業力向上に向けた自己研鑽に励み、相互協力し、積極的にカリキュラムマネジメントに参加する教職員 ○生徒の成長を自らの喜びとして、いきいきとやりがいを持って働くことのできる教職員 						

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 教員や仲間と楽しく学び合い活動する中で自分のよさや可能性を見出し、存在感や自己実現の喜びを実感する。</p> <p><保護者> 丁寧な教育の充実をさらに進め、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら発達段階に応じた成長が見られる。</p> <p><地域社会> 昴学園の魅力化を進めることで、高校の存続から波及し、地域の活性化へと繋がる。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭></p> <p>安心・安全な学習環境の中で、きめ細やかな指導により、子どもが自主性や自律性を身に付ける教育の提供</p> <p><中学校></p> <p>全寮制のシステムを生かし、自己実現を目指す子どもが生き活きと学べる場の提供</p> <p><地域社会></p> <p>地域の活性化のために、学校の魅力化を図り、学校のさらなる活性化</p>	<p><家庭></p> <p>本校教育方針への理解と協力、双方向の連携</p> <p><中学校></p> <p>生徒の学ぶ意欲の向上及び継続的・効果的な指導のため、個々の生徒一人ひとりの詳細な情報提供</p> <p><地域社会></p> <p>本校の教育活動を理解し、地域の産業や行政からの積極的かつ具体的な支援</p>

(3)前年度の学校関係者評価など	<p>○中学生や中学校の教員に対して、良くなりつつある本校の学びや進路実績を一層周知すると良い。</p> <p>○「大台探究」や DX ハイスクール等の事業を今後どのように継続して追求していくのかを教員で共通認識しておく必要がある。</p> <p>○地域との連携を更に深めながら昇学園の学びを充実して欲しい。</p> <p>○様々な場面で発表等をより増やし、生徒の自信につなげる機会を増やして欲しい。</p> <p>○寮の安全確保のための早急なメンテナンスが必要である。</p> <p>○生徒の盗撮防止については、見直した危機管理マニュアルをもとに県教育委員会と連携した対応を進める必要がある。</p>
(4)現状と課題	<p>○多くの生徒が自主性や自律性、協調性等、社会生活を営む上で必要な力を身につけて卒業していく。しかし一方で、自制心、意欲、忍耐力等の欠如から、寮生活や学校生活に適応することが難しい生徒もいる。</p> <p>○学ぶ意義や学び方などを理解できていない生徒が多い。学ぶ楽しさを教員と共に感じていく必要である。また、自ら課題を発見し、その解決策等を調べ、まとめて発表するなど、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な主体的な課題解決能力の育成も必要である。</p> <p>○卒業生の約6割が進学し、そのうち5～6割が専門学校へ進学する。自分に合った進路決定をするため、社会的・職業的自立を目指した教科横断的なキャリア教育の充実と推進が必要である。</p>
	<p>○課題発生時に教職員が機動的かつ組織的に対応できる強みがある。</p> <p>○部活動で自己実現を目指す生徒など生徒の多様化が進行していることから、より一層の生徒理解の深化と多面的な指導力の向上を図ることが必要である。</p> <p>○やりがいを持って働くことができる職場の環境づくりを目指して、教職員の負担の軽減を図るとともに、学校が抱える課題に対して教職員相互の対話と議論が必要である。</p> <p>○少子化が進む中、県内の志願者を確保するため、学校のあり方について検討を進める必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<p>① 基本方針</p> <p>多様な能力・適正等を持つ生徒に対応し、自己の進路選択への自覚を深める動機付けとなる教育を行う。また、生徒の発達段階に応じたきめ細かな指導を心がけ、生徒一人ひとりに応じた指導内容や指導方法の工夫し、生徒の個性を生かした実践的・体験的な学習活動など柔軟な教育を行う。</p> <p>② 産業社会と人間</p> <p>自己の生き方を探究させる観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。</p> <p>③ 総合選択科目</p> <p>地域探究系列、総合スポーツ系列、美術工芸系列、生活福祉系列、環境技術系列の5系列において生徒の興味・関心等に基づき選択を行うこととする。</p> <p>④ 自由選択科目</p> <p>地域と連携し、身近な地域を学習フィールドとし、グループ学習等を通して、自らの生き方を探究する姿勢を養う。</p> <p>⑤ 多様な評価</p> <p>各教科・科目において、生徒の良い点や変容等を積極的に評価することで生徒一人ひとりに応じた進路実現を図る。</p>
----------------------------------	--

学校運営等	<p>① 教育活動に、教職員一人ひとりがやりがいを持って取り組めるように、情報共有や助け合いなどによるチームとしての学校づくりを進める。</p> <p>② 校務の効率化や職場の環境整備に努め、総勤務時間の縮減を目指すとともに、働きやすい環境づくりを進める。</p> <p>③ 個々の教職員が日常的にコンプライアンス意識を高く保てるよう、様々な事例に基づいた主体的な研修を推進し、教職員一丸となり信頼される学校づくりに努める。</p> <p>④ 本校の特色ある教育システムや内容等について、活性化の観点から今日的な意義や役割を検証し、強みは伸ばし、弱みは改善する。また、情報発信のあり方について工夫する。</p>
-------	---

4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<p>○本校の学習に強く興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組める生徒</p> <p>○スポーツ活動・文化活動・生徒会活動等に積極的に取り組める生徒</p> <p>○寮・学校において協調性を持ち、規律正しい集団生活をしていける生徒</p>
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習活動の充実	<p>教育課程の改善や評価についての研究を進めるとともに、教科や系列を横断した授業づくりに取り組み、授業の質的向上を図る。また、授業内容全般に関して生徒の挑戦する意欲・学ぶ意欲の向上を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○系列体験学習の実施(年2回) ○学習成果発表会の開催(中間発表会含む年2回) ○自己肯定感アンケートの実施(年3回) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する」生徒が70%以上 		※
生徒指導の充実	<p>生徒の個別面談や生徒会行事の活用、寮との連携を通じて、教員間でしっかり情報共有し、生徒個々への充実した対応、支援を目指す。特に「いじめ」について重点的に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめアンケート」の実施(年3回) ○自己肯定感アンケートの実施(年3回) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめを認知し見守り対応した割合100% ○アンケートにおいて生徒の自己肯定感向上70%以上 		※

進路指導の 充実	地域や大学・専門学校等との連携を深め、社会的・職業 的自立を促すようにすべての教育活動におけるキャリア 教育の充実を図る。 【活動指標】 ○インターンシップの実施(年1回) ○地域企業や大学・専門学校との連携事業の開催(年3 回) 【成果指標】 ○希望する進路先への決定率100%		
生徒の心身 の健康管理	個々の生徒の発達段階に応じたきめ細かな支援に努 め、生徒が心身の健康を自己管理できる能力の育成を 目指す。 【活動指標】 ○薬物に関する講演会の実施(年1回) ○OSCによる授業(年3回) ○献血セミナーの開催(年1回) 【成果指標】 ○保健室来室者の減少		
人権学習の 充実	互いに尊重しあい、違いを認めあうとともに、生徒一人 ひとりの自尊感情を高め、自己実現を図ることができ るよう、人権感覚あふれる学校づくりに努める。また、 自分の人権・他人の人権、双方を大切にできる人権感覚 を育てる。 【活動指標】 ○全校討論会の開催(年2回) ○各学年による人権学習の実施(各学期1回) 【成果指標】 ○人権意識を高めた生徒の割合75%以上		◎
寮活動・寮 教育の充実	寮生活を通じて、一人ひとりが生活的・精神的な自立、 協調性・コミュニケーション能力・自己表現力の伸張、忍 耐力など人生をしっかりと生き抜いていく「生きる力」 を身につける。 【活動指標】 ○「整理・整頓・掃除」チェック(年2回) ○朝の施設・プレーカーチェック(毎日) ○ナイトスクールの開催(年1回) ○寮生による寮行事の開催(年3回) 【成果指標】 ○寮生の学校遅刻回数0回 ○寮の規則違反者数0人		◎
改善課題			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
開かれた学校づくりの推進	高内外に向けた生徒の活躍する様子の積極的な情報発信に努める。 【活動指標】 ○公開授業の実施(年2回) ○保証人への学校公開(年3回) ○新聞等報道機関への掲載(月1回) 【成果指標】 ○公開授業・学校公開の実施率100% ○新聞等報道機関への掲載件数12件		◎
安全で快適な校舎環境	電気、給水、排水、空調、暖房設備等の校舎、生徒寮及び職員寮設備の維持メンテナンスを的確に管理するために、事務室室長担当、学校教育技術員、舎監、寮務員など関係者の情報共有を行う。 【活動指標】 ○学校安全衛生委員会の開催(月1回) ○学校安全点検の実施(各学期1回) ○寮の給湯ボイラー点検(年1回) ○灯油地下タンクの点検(年1回) 【成果指標】 ○各点検の実施率100% ○重大事故件数0件		◎
学校活性化の方向性の確立	活性化協議会の助言と指導の下、学校の活性化と志願生徒数の増加を目指す。 【活動指標】 ○県外PR活動への参加(年3回) ○未来の昴を考える会の開催(年3回) 【成果指標】 ○志願生徒数の定員確保80名		◎
教職員の働き方改革の推進	教職員が生き活きと教育活動に取り組めるよう、教職員が担う業務の見直しや業務の効率化に取り組み、総勤務時間縮減を図る。 【活動指標】 ○設定した定時に退校できた教職員の割合100% ○予定通り休養日を実施できた部活動の割合100% ○放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合100% 【成果指標】 ○時間外在校等時間が年360時間・月45時間を超える教職員数0人 ○1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下 ○1人当たりの年間休暇取得日数15日以上		

危機管理の 推進	現実に即した危機管理体制を構築する。信頼される教職員集団づくりへの取組を進める。 【活動指標】 ○「危機管理マニュアル」の見直し・改善(年1回) ○学校信頼向上委員会による「信頼される学校であるための行動計画」の見直し・改善(各学期1回) ○防災訓練の実施(年2回) 【成果指標】 ○年間の避難訓練の実施率100% ○重大事故件数0件		
改善課題			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	
-----------------------------	--

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	
学校運営について の改善策	